

ちぶ

小さな島
みなファミリー
知夫里島

CHIBU

Contents

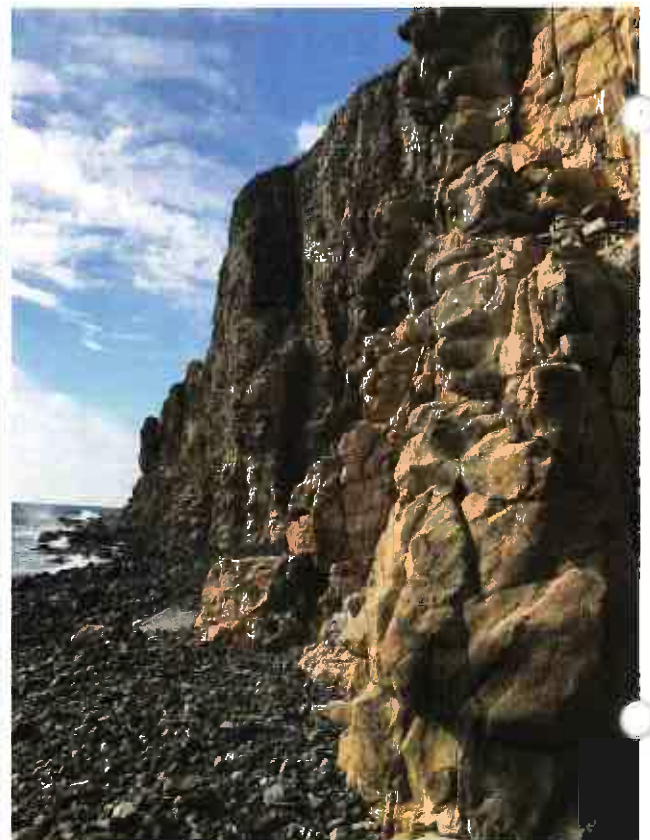
- 2～3… 議会だより・議員、議会の活動日誌
- 4…… 中学部3年生 ふるさと教育の取り組みについて
- 5…… 地域に向けた男女共同参画事業を開催
- 6～7… 公民館・教育委員会事業
 - どっさり祭、子ども読書活動推進計画
 - 知夫村老人クラブ連合会
 - 書道家になれ、島前スポーツ大会
- 8…… みんなのふれあい農園、七五三
海幸寸評
- 9…… 絵の島・花の島を目指して、消防パレード
- 10…… ウルミネーション、ちぶりらしさ集め
- 11…… ちぶりP
- 12…… 島根いのちの電話、集落支援募集
令和元年度決算額、戸籍コーナー



2021
2



広報ちぶ
VOL.218



「知夫の冬の風物詩“岩海苔つみ”」 提供者 井上 奈々（地域おこし協力隊）

村長再選の挨拶

私は、昨年10月27日告示、11月1日選挙の知夫村長選挙におきまして無投票により引き続き村政を担う事となりました。村民の皆様方から「2期目で真価を見せろ。」という叱咤激励を込めての結果であろうと思うところであります。

私は、そうした村民の皆様方の無言の激励とご支援に改めて責任の重さを痛感するとともに、村民の皆様方の負託を真摯に受け止め「安心して心豊かに暮らせる島」、「次の世代へ胸を張ってバトンを渡せる村づくり」を目指し、1期目で実現できなかった施策と喫緊の課題である村内公共交通網の整備や新型コロナウイルス感染症への対策など、知夫村が抱える多岐にわたる行政課題に全力を傾注する所存でございます。

村民の皆様方、そして議員各位におかれましては、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

率先垂範の議会活動を目指して
知夫村議会の五つの変革

議長 横川 正



- ① 議員の顔がみえないの声に対応して、「存在感の提示」の一助のために、「敬老会」や「関西知夫人会」など、イベント的な行事の出席は、各議員が交代で出席することにしております。「入学式」や「成人式」などの儀式には議長が出席します。
- ② 議員の率直で、ありのままの意見を幅広く村政に反映させるために、惜しみない発言ができるように、毎月開催する「全議員協議会」での発言については、挙手をして、議長に発言の許可を求める行為は必要としないこととしております。
- ③ 議会は何しているの疑問に対応して、「コロナ対策議員懇談会」や「水産加工施設に関する研究会」などを開催するとともに、「地区懇談会の開催要求」など、議会として「組織的な活動」の実施や要求をすることとしております。
- ④ 「予算」の審議については、執行部に、より丁寧な説明を求めて、各議員が十分に理解し、納得したものを予算とすることを旨とするようにしております。議員の間で意見が対立するような場合には、「採決」もあり得ます。
- ⑤ 執行部の提案をそのまま受け入れるのではなく、議員の主体性を求めて意見を統一し、議会の総意として、場合によっては、「議員提案」「発議」などの建設的な提案をすることとしております。

議会だより

12月定例会

令和二年十二月九日十二月定例会が開催され、村長の新型コロナウイルス感染症第三波について、感染防止のための自粛へのお願ひ等の挨拶後に、同意案一件、専決処分に係る承認案三件、条例案三件、補正予算案五件、計十二案件が上程され、原案どおり可決されました。



金崎議員

諸般の報告

令和二年十二月七日令和二年度隠岐広域連合第二回臨時議会について、金崎議員より報告が行われました。上程された案件は、隠岐広域連合副連合長の選任同意案一件、専決処分に係る承認案二件、条例案二件、補正予算案二件の計七案件が原案どおり可決されました。

主な案件内容は、島前病院事業の補正については、県補助にて新型コロナウイルス対応費用で備品、感染対応従事者慰労金が計上されました。また、隠岐病院事業についてもコロナ備品費と感染症対策従事者慰労金が計上されました。

村政のここを聞く

一般質問

一般質問は二名の議員が、村長に所信を伺いました。

Q



山本議員

① インフルエンザ流行時の新型コロナウイルス感染症対策について
インフルエンザ発症時におけるコロナ感染予防対策についてどのような体制を整えていくのか、また、本村に感染者が発生した場合の偏見対策を含めた具体的な対応方法について、村長の考えを伺います。

② 情報発信の充実について

現在イターン者の方による情報、発信が盛んに行われています。こうした方が協力も得て、住民サービスとしての情報発信の充実を図ってはいかがかと思いますが、取組について、考えを伺います。

③ 空き家、危険木対策について

空き家は、個人問題から地域社会で共有すべき深刻な問題として考える必要となっております。住民の安全安心を守るための空き家、危険木の対策について、考えを伺います。

村長

① 新型コロナウイルスインフルエンザ



ザ・新型コロナウイルスインフルエンザ

ス発症時における現状に鑑み、知夫診療所横に「発熱外来施設」を設け、発熱患者と他の患者さんを分けた診察ができるように対処します。また、隠岐保健所担当職員による、役場職員をはじめとして接触者の多い職場の職員を対象とした勉強会を実施しています。感染者への偏見対策については、当事者の立場を理解した慎重な言動や行動を心掛けていたきたいと思います。村民の皆様には、マスクの着用、手洗い等の感染予防の徹底を心掛けていただくことをお願いいたします。

② 情報の発信は、活性化を図る上で必要不可欠であると考えています。積極的に村内情報収集を行い、情報発信を進めるよう担当課に指示をしています。また、集落支援員等を募集し確保した後に、SNS等活用した情報発信に取り組みたいと考えています。

③ 「空き家対策」については、国の「空き家等対策推進に関する特別措置法」を受け設置した「知夫村空き家等対策協議会」で対応をしていきます。「危険木対策」については、所有権等の個人的な問題等があり早急な対応は難しいですが、島前森林組合を含めた関係者で今後の対応について検討したいと考えています。

Q

① JFしまねにおけるA重油、軽油販売について



並河議員

JFしまねについては、危険物責任者が不在のために販売時間短縮となり、給油しないと油タンクが空になる船もあることより、危険物取扱責任者の配置を行い漁に支障がないようにしていただきたいと思います。村長の考えを伺います。

② 村内運行バスについて



試験運行バス

新たにバス利用の時間帯、停留場所等のアンケート、利用状況調査について、また、来年四月から予定されている本運行における事業形態について、考えを伺います。

村長

① JFにおいては、組織を支えて頂いている漁業関係者や地域を重視した組織運営に当たられることを切に願うところであります。

② 来年四月からの本格運行に向け、十一月より三名の集落支援員を雇用して一日六便の村内巡回バスの試験運行を実施しています。ご利用される村民の皆様のご意見や島根県などの関係

機関からご指導をいただきながら、試験運行中の利用状況をふまえて運行形態、便数など慎重に詰めていきたいと考えています。事業形態については、新たに設立予定の一般社団法人に、バス事業全般を委託する予定としています。

12月定例会の主な決議案件

- 副村長に田上俊氏を選任同意した
- 職員の手当 ○ 五月引き下げ
- 令和三年度より、稼働する知夫村水産物加工場の設置及び管理条例制定
- 補正予算関係
- 人事院勧告に基づく職員手当減額補正
- コロナ感染による各種イベント旅費等補助金減額補正
- 役場三階空調工事費三百九十八万円増額補正
- 新型コロナウイルス感染症隔離施設・ログハウスのリース料減額補正
- スポンサーメーター工事費六百万円増額補正
- バス試行運転集落支援員三名報酬二百九十七万円増額補正



水産物加工工場建設

多沢住宅建設

保育所建設

島根県町村議会議員研修会

令和2年10月2日(金) 松江市プラバホール

「新型コロナ禍から地方が見える」

講師 中央学院大学 福嶋浩彦氏

「島根の町村が牽引する日本の地域作り」

講師 農村ジャーナリスト 甲斐良治氏



(講演内容)

議会の役割を果たす方として、議員が自分の支持者の要望実現を主張し行政に迫るだけでなく、議会は自治体の意思決定機関であり、議員同士の議論、討議を中心とした議会運営をしなければ、議会は時代から取り残されることになるという提言内容の講演会でした。

議会・議員活動報告

- 11月
 - 全員協議会
 - 月例監査
 - 島前町村組合臨時議会
- 12月
 - 全員協議会
 - 広域連合議会運営委員会
 - 第一回広域連合議会臨時議会
 - 十一月定例会
 - 島前町村組合定例会
 - 月例監査
 - 中学生発表会及び懇談会
 - 第6次総合振興計画策定会議
 - まちひとと共生創生総合戦略策定会議

地域に向けた 男女共同参画推進事業 を開催

12月4日(金)に知夫小中学校のご協力のもと、授業の一環として小学5・6年生、保護者及び教育委員会職員を対象に男女共同参画推進事業の講座を開催しました。講師は、糸井塾塾長の糸井龍三さん(慶応義塾大学生)。昨今の情勢から糸井さんは来島されませんでしたが、東京と教室をオンラインでつなぎ「糸井塾 in ちぶむら～自分も周りもみんな笑顔!お片付けからはじめるお手伝い～」というテーマで授業を行いました。

糸井さんは、子どものころから「お手伝い」をすることが、自己肯定感・行動力・協調性・道徳心・思いやりなどの「生きる力」につながっていくことや、子どもたちの「お手伝い」が習慣化すれば、未来の男女平等にもつながっていくことなどについて、自分の実体験に基づいた話をされました。

糸井さんからの話を聞いた後は、実際に自分の机の中の引き出しの整理整頓に挑戦!中には夏休みの宿題の封筒が発掘される児童もいましたが、「全部出す→分ける→しまう」の3ステップで取り組み、とてもスッキリとした綺麗な引き出しになりました。

糸井龍三さん、この度はどうもありがとうございました。



取り組み前



取り組み後

中学部3年生 ふるさと教育の取り組みについて

前回の広報「ちぶ」では、中学部3年生のふるさと教育(総合的な学習の時間)の取り組みについて紹介させていただきました。生徒は昨年12月に活動を終わりましたので、どのような結果を残したのか(成果を上げたのか)を紹介します。

だんだん物語 PJ…地域のお年寄りの人生を写真や文字でまとめた本を作るPJ(活動)です。

3名の生徒が一人ずつ、対象となるお年寄りの本を完成させました。「対象者さんに喜んでもらえる本をつくること」にこだわってつくった本は、それぞれの対象者さんに大変喜んでいただきました。中には、「毎日必ず一度は目を通して。」というお年寄りもいるほどです。

ふるさと納税 PJ…ふるさと納税の返礼品を開発し、新規ふるさと納税者をふやすPJ(活動)です。

役場担当課(総務課)に何度も提案しながら、二つ返礼品を採用していただきました。それは、「墓掃除」と「絵はがき」です。これらの返礼品は、知夫村役場のホームページから検索することができます。絵はがきの写真は生徒が自ら撮影し、知夫の四季が感じられる素敵な仕上がりに。関心のある方は、是非チェックしてみてください。

いっぱいあつど野菜 PJ…学校給食に地元の野菜を提供して下さる方を増やすPJ(活動)です。

これまでの「給食への野菜提供の仕組み」を見直し、新しく6名の協力者を見つけることができました。変更した仕掛けの一つに、「野菜の集荷方法」があります。それは、提供する野菜を学校に持って行くことができない方のために郵便の配達員が集荷するというものです。12月の発表会では、「画期的な考えである。」と村長にもほめていただきました。

今年度も、生徒は多くの成果を残しました。しかしその陰に、生徒を支え一緒になって考えたり動いたりして下さった方がたくさんいます。その皆さんが、本気になって生徒と関わって下さったからこそ、生徒は多くの成果を出し、多くの力を身につけました。この学習に関係して下さった皆様、ご協力ありがとうございました。



平成29年改訂の学習指導要領で「社会に開かれた教育課程」の理念が掲げられました。「社会に開かれた教育課程」とは、学校の教育課程を通じて、子ども達が社会や世界とつながり、よりよい人生や社会を自ら創り出していける力を積極的に育もうとする、教育課程の役割やあり方についての考え方です。知夫小中学校では、その推進に向け平成30年度に「ふるさと教育(総合的な学習の時間)」の取り組みを9年間のつながりを意識しながら整理し、これまで取り組んできました。今回その取り組みの成果が認められ、第4回NITS大賞(独立行政法人教職員支援機構)にて優秀賞を受賞しました。知夫小中学校での取り組み「学びがつくる3方よし～社会に開かれた総合的な学習の時間～」での、よりよい地域をつくる視点から、地域の環境を生かし、関係者や団体に助けをもらったり、施設等を活用したりすることで子ども達の学びをより豊かなものにした取り組みが評価された形となりました。しかし、本校での取り組みはまだ始まったばかりです。これからの社会を創り出していく子ども達が、社会や地域と向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、さらに教育課程において明確化し育んでいきたいと考えています。【文責 校長:若本】



知夫小中学校

「書家になれ」

公民館事業

12月20日(日)に公民館事業の書道教室「書家になれ」を実施しました。村内の皆様から講師にご協力いただいている事業です。当日は小学3年生から中学生、保護者の方もご参加いただき、講師陣に丁寧な指導を受けながら、それぞれ作品を完成させました。

実施した日だけではなく常日頃から字を書く事への意識も大事との話も頂きました。



島前グラウンドゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、バドミントン大会

毎年、島前3町村内で行われている各種スポーツ大会ですが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、従来上半期に行われていた種目は中止、あるいは延期となっております。9月以降徐々に活動が再開され、3つの大会に知夫村から出場し、それぞれ好成績を取めましたので、ご紹介します。

●島前グラウンドゴルフ大会

10月11日(日) 会場:知夫村ふれあい広場

団体の部 全6チーム出場

優勝:知夫GGA(石橋弘行、山本和夫、前濱誠一、鹿島洋、小濱清人) 201打

準優勝:知夫GGB(山崎功子、山本富美子、横畑陽子、磯部ミチ、崎秀政) 222打

個人の部 全32選手出場

優勝:崎秀政 35打 準優勝:鹿島洋 37打 3位:山本和夫 38打



●島前ソフトバレーボール大会

12月6日(日) 会場:西ノ島町民体育館

団体の部(男女混合) 全8チーム

優勝:ラクーン・ドックスB(知夫)

(堀川洋平、矢田涼一、田中理絵、矢田百合子)

準優勝:海士町

●島前バドミントン大会

12月13日(日) 会場:知夫小中学校体育館

団体の部(男女混合) 全5チーム

優勝:西ノ島

準優勝:RED CLIFF A(知夫)

(山根寛之、山根賢大、森圭史、崎隆二、矢田涼一、口村雄大)

個人の部 全13組

優勝:山根寛之・山根賢大 組

準優勝:矢田涼一・口村雄大 組



どっさり祭

第9回知夫里島どっさり祭を11月21日(土)22日(日)23日(月)に知夫村図書館内で開催しました。今年度は感染症対策として、これまで1日開催だったものを来場者の分散になるように3日間の開催にした他、従来実施しておりました、「屋台販売」、「ステージ発表」を企画せずに、展示、体験企画のみの実施としました。

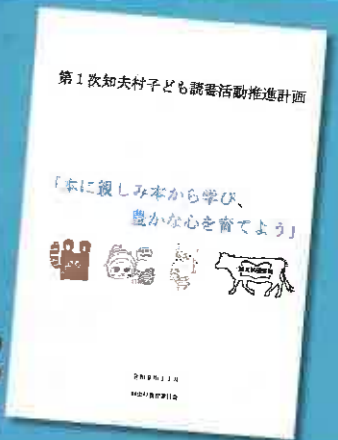
例年と違うスタイルでの実施なので、展示、体験企画の申込みや来場数がほとんどないと見込んでおりましたが、例年並みの企画数さらに3日間の述べ来場数は250人を超える大盛況となりました。

実行委員の皆様、企画参加の皆様、ご協力ありがとうございました。



子ども読書活動推進計画

この度「第1次知夫村子ども読書活動推進計画」が策定されました。これは村内の0~18歳までの子ども達を対象とし、図書館をはじめ、関係機関が取り組む計画です。計画は5年ごとに改定され今回の実施期間は令和2年度~令和6年度になります。計画は知夫村役場HPの「行政情報」→「方針・計画・取組」内に掲載しているほか、知夫村教育委員会、知夫村図書館で閲覧することが出来ます。



知夫村老人クラブ連合会

この度、知夫村老人クラブ連合会は島根県教育委員会より学校教育分野や社会教育分野等において功績が顕著な個人・団体を表彰する「令和2年度教育優良団体表彰」を受賞しました。

これまで、村内で行ってきた世代間交流事業を実施し、子どもたちとの交流、健全育成に取り組んだことが賞されました。

【活動例】

交流もちつき大会、活性化協議会との奉仕作業(長尾道草刈り)、スポーツ大会等



絵の島・花の島を目指して



春と晩秋の年に2度咲くシキザクラをはじめ、アジサイ、フヨウの花などを島内に植樹をし、村民の皆様楽しんでいただいています。愛知県小原村では、シキザクラの花で、年間10万人の観光客の方が訪れています。今年度は、終末処理場横の道路空き地にフヨウを植樹しました。7月～11月末まで楽しんでいただける花です。皆さんも一緒に絵の島・花の島づくりに参加しませんか。

知夫村環境美化推進協議会 会長 向清博幸

消防パレード



令和2年11月9日に秋の消防パレードが開催されました!

コロナ禍で様々なイベントが中止になるなか、消防パレードを無事開催することができました。全部で8台(うち消防車6台)の隊列で村内を回り火災予防を呼びかけました。

令和2年の火災件数0件だったので、引き続き火災に気を付けて、令和3年も火災件数0件を目指しましょう。



七五三

令和2年11月15日に秋祭りと一緒に一宮神社において七五三詣がおこなわれました。知夫は年々子どもが増えており、今年は6人が3歳を迎えました。全国的には男児は5歳、女児は7歳とされますが、知夫では男女とも3歳の時だけお参りをします。



みんなのふれあい農園

知夫村には活動を通して、住民に安心安全な食環境を提供する共同農園があります。

野菜を有機栽培し、野菜作りの楽しさや成長の過程を観察することにより、食と農の理解や地産地消に関心をもつことができます。今年度は蕎麦づくりにチャレンジしています。9月に種まきをし、12月に収穫作業を行いました。みんなで蕎麦を食べることを楽しみに活動しています。普段の活動の様子はSNSでも確認できます。



蕎麦の畑の様子



蕎麦の実



蕎麦の花



知夫村みんなのふれあい農園 Facebook

海幸寸評 浦戸乃志 (うらとのし)

作(文・絵)

(うらとのし)

○タナゴ(ウミタナゴ)…スズキ目、ウミタナゴ科 15cm～25cm

大部分の魚は子孫を残す方法として卵を持ち海中に放卵をする。中には岩礁に付着させ卵の漂流を防ぐ魚もいるが、タナゴはそれらと全く異なる方法で子孫を残す。

胎生といって、動物のように胎内で子は成長する。6月頃、2～3cmの親そっくりの仔魚が産れ直ぐに自力遊泳をする。

卵の場合は一匹の魚が何千、何万粒を産卵しても生存率は1%もないといわれる中、タナゴはわずか20尾前後を産むだけの高効率化の方法を考えたことになる。

ちなみに淡水にすむタナゴは、二枚貝のえらの中に産卵するというから、これも驚きである。

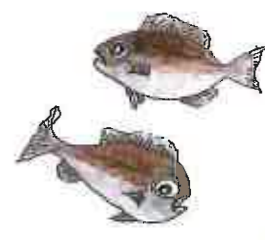
この魚はたて網で捕るのが一般的だが、この時タナゴにとっては、これ以上ないほどの苛酷な状況が起きる。

知夫里での呼び名 ()内は正式な呼び名 綱、目、科、大きさ

数日後には仔魚が産れそうな大きなおなか、丁度網の目に止り、どうにも逃げられない。網から外す時には、その仔魚が腹からこぼれ出て、あわてて放してみるが助かるのは少なそうだ。たいいはいは仔魚がこぼれ出ないよう丁寧に外す。

知夫では焼いてなめ味噌をつけて食べるのが最もポピュラーであるが、勿論しょう油でも十分だ。ところで先に述べたように腹には今にも産れそうな仔魚が整然と重なっており、当然残酷なことであるが、人間どもは平然とそれも口に運ぶ。軟らかくて美味で、この仔魚を食べたくて丁寧に網から外すのはその為である。慣れてしまつと「ざんげ」のかけらもなくなる。

この時期以外のタナゴは煮ても焼いてもうまくない。



ちぶり編集部って、
こんなことやってます！

島内外在住問わず、
知夫ファンへの
情報発信



ちぶりHP

ディープな知夫を。
おすすめコーナーは“知夫のひとたちお店たち”



ここに知夫の日常チラ見せ。
一番リアルで速報、身近に感じられる知夫情報！

知夫のきれいどころ、集めました。ときどきライブ配
信してます。街中、否、むらなか動画視聴可能♪



Facebook



インスタと連動中。
知夫の風景が楽しめます♪



YOUTUBE

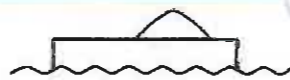


「アカハゲ電波局」開
設しました♪ “おうち
でちぶりシリーズ”、
おっちらと、動画ふやし
ていきますよー♪

紙で読める！おもさもマガジン



“知夫の人たちお店たち”
が載っている『おもさも
マガジン』が診療所、役
場、図書館、ターミナル
等においてあります♪



ちぶりア
Chiburipple

ウルミネーヨヨ

～竹明かりで、古海地区を照らそう！～

12月17・18日の2日間、古海地区に手作りした竹灯籠が並びました。

地域おこし協力隊と集落支援員が中心となり、住民の方たちと協
働しながら、竹を切り出し、節を取り、竹に穴をあけてライトを
いれ並べました。その数100本以上。当日は、雪が降ったりや
んだりする中、地域の人たちとわいわい準備し、寒くも竹明かり
で暖かい時間を過ごしました。



いまこそ、「ちぶりらしさ」とは？を村民に問う！

ちぶりらしさ集め



できた作品は
YOUTUBEでもみれるよ！
ちぶりらしさ集めで検索！

「あなたが思うちぶりらしさとは？」と聞かれて思い浮かぶのは何ですか？秋ごろ、知夫村の
方々に聞いてスケッチブックリレーにしてみました。ご協力いただいたみなさまありがとうございます！
お読みになっているあなたも考えてみたら新しい発見があって楽しくなるかもしれませ
んね。



ちぶりア
Chiburipple

ちぶり編集部

島根いのちの電話 第40期電話相談ボランティア養成講座受講者募集

「いのちの電話」は、自死予防を主な目的とした悩み事電話相談です。この活動を支えるのは、仕事や家庭を持ちながら研修をうけたボランティアの電話相談員です。

第1課程(公開講座 全15回)

受講期間: 4月3日(土)から6月19日(土)までの第1・3・5土曜日
 時間: 13時15分～16時30分
 場所: いきいきプラザ島根(松江市)・いわみーる(浜田市)・自宅等でのオンライン受講もできます

募集人数: 25人程度
 受講費用: 10,000円 ※1講座1,000円で選択受講もできます。
 募集締切: 3月20日(土)

第2課程(養成講座)

応募資格: 第1課程を修了した人(10回以上出席) ※第1課程終了後、面接を経て受講の可否が決まります。

受講費用: 1万円(その他、テキスト代2,000円程度、宿泊研修の費用がかかります)
 受講期間: 2021年7月～2022年3月 毎週土曜日(第4土曜日を除く)

●問い合わせ 島根いのちの電話事務局
 TEL.0852-32-5985 Eメール: s-inochi@smile.ocn.ne.jp

【第1課程 公開講座(全15回)どなたでもご参加いただけます。】

| | | | |
|----|-------------------------------|-------|----------------|
| 1 | いのちの電話がめざすもの | 釜瀬 春隆 | 理事長・釜瀬クリニック |
| 2 | 対人関係の基本 —自己理解と他者理解— | 大西 俊江 | 山陰心理研究所 |
| 3 | 精神疾患の基礎知識 | 小原 圭司 | 県立心と体の相談センター |
| 4 | 性と生殖の健康/権利 | 河野 美江 | 島根大学保健管理センター |
| 5 | ひきこもりの理解と支援 | 原田 豊 | 鳥取県立精神保健福祉センター |
| 6 | 災害時のメンタルヘルス | 原田 豊 | 鳥取県立精神保健福祉センター |
| 7 | うつと自死 | 稲垣 正俊 | 島根大学医学部 |
| 8 | 身近な法律相談・人権 | 丸山 創 | 島根丸山法律事務所 |
| 9 | 島根県の自死の現状と対策 | 青山 佳世 | 島根県健康福祉部障がい福祉課 |
| 10 | 自死遺族に寄り添う | 桑原 正好 | しまね分かち合いの会・虹 |
| 11 | ライフサイクルにおける危機 —乳幼児から中高年まで— | 高橋 悟 | 島根大学人間科学部 |
| 12 | 高齢者の世界 | 西崎 緑 | 島根大学人間科学部 |
| 13 | 子どもと若者の自死 | 永岡 秀之 | 島根県立こころの医療センター |
| 14 | 子どもの虐待とDV | 成瀬 明子 | CAPスペシャリスト |
| 15 | カウンセリングの基礎 | 蔵 あすか | 山陰心理研究所・臨床心理士 |

集落支援員募集

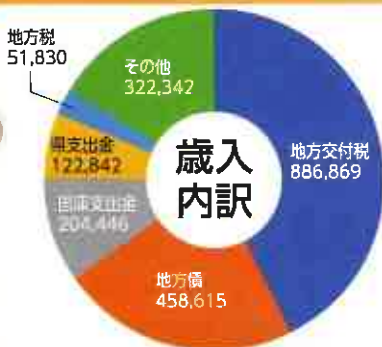
知夫村では、子どもから高齢者まで地域住民の人が健康的で生きがいを持ち安心して暮らせる支援を目的として、「地域住民見守り支援員(集落支援員)」を下記のとおり募集します。

就業場所: 通いの場または障がい福祉サービス事業所
 賃金等: 基本賃金(月額)170,000円
 社会保険等 厚生年金 健康保険 雇用保険

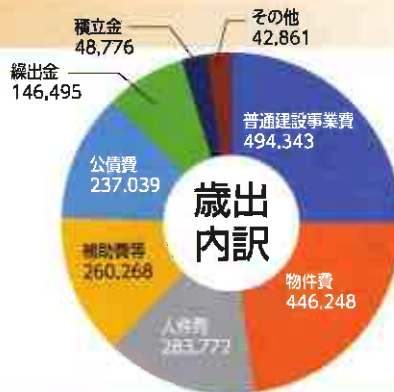
詳細は下記連絡先までお問い合わせください。
 志のある方、やる気と元気にあふれている方の応募をお待ちしております。

●村民福祉課
 〒684-0100 島根県隠岐郡知夫村1065番地
 TEL.08514-8-2211 FAX.08514-8-2093
 メール: fukushi@vill.chibu.lg.jp

令和元年度 決算額



| | |
|-------|---------|
| 地方交付税 | 886,869 |
| 地方債 | 458,615 |
| 国庫支出金 | 204,446 |
| 県支出金 | 122,842 |
| 地方税 | 51,830 |
| その他 | 322,342 |



| | |
|---------|---------|
| 普通建設事業費 | 494,343 |
| 物件費 | 446,248 |
| 人件費 | 283,772 |
| 補助費等 | 260,268 |
| 公債費 | 237,039 |
| 繰出金 | 146,495 |
| 積立金 | 48,776 |
| その他 | 42,861 |

金一封をいただきました。
 (広報郵送料)
 寄付者 3名
 ありがとうございます。

おやすらかに
 心からおくやみ申し上げます
 山本 美知子(72)
 小新 安男(88)



NPO法人設立手続きを役場で行います!

これまで島根県で行われていたNPO法人設立などの手続きを、令和3年4月1日から知夫村役場で行います。

【対象】 知夫村内にのみ事務所を置くNPO法人
 【内容】 NPO法人設立の認証、公告及び縦覧、事業報告書等の受付、事業報告書等の閲覧など
 【お問い合わせ先】 総務課 ☎08514-8-2211

●村の人口(令和3年2月1日現在) 人口/648人(男:322人 女:326人) 世帯数/364世帯 65歳以上人口比率/44.9%